

地域おこし協力隊のふくしま散歩!

雪も多く、寒い日が続いておりますが皆様いかがお過ごしでしょうか？

早いもので地域おこし協力隊に赴任してから半年が過ぎました。

今回は、今年で6回目の開催となる、「雛・武者人形祭り」をご紹介します。場所はチロップ館、2008年3月末で閉校した旧白符小学校体育館を利用して開催されております。〔開催日：2月25日～5月中旬 開館時間：9時～17時頃迄(休館日は毎週火曜日)〕

全国各地から寄贈された800体以上にもなるひな人形が、管理人である熊谷正春さんの独自のセンスとアイデアにより大変見ごたえのある形で展示されております。

迫力もあり別の時代にタイムスリップしてきたような不思議な気持ちにさせてくれます。なかには100年以上も前に作られた大変貴重でなかなか見ることができないひな人形や武者人形も展示されております。

雛・武者人形祭りは5月中旬まで開かれておりますので皆様も一度、800体以上にもなる、ひな人形の迫力を体感しに来てはいかがでしょうか？

そのほかにもチロップ館には昔懐かしいレトロなおもちゃ、真空管アンプ、骨とう品などマニアックなグッズなども展示されております。見たことがない意外な物に出会えるかもしれません。



▲チロップ館の館内に展示された雛人形や武者人形



地域おこし協力隊
吉村 拓朗

1年で1番寒い月が終わり、春までもう少しですね。

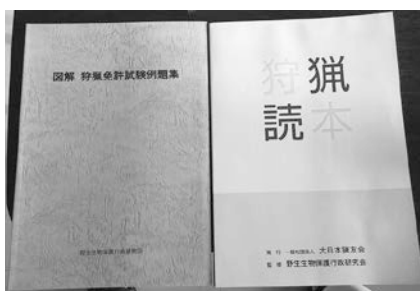
私は今年に入ってから農家さんの手伝いをしながら生産方法を学び、その合間に有害鳥獣駆除のわな猟の資格を2月7日に取ってきました。これはハンターの道下さんに勧められた事もありますが、今後農業に関わっていく上である程度自分で対応出来るようにしたいと思ったからです。

現在、福島町には農産物検査員の資格を持っている人がいない状態で、毎年秋になると他の町の検査場に米やソバを大量に運んで、検査が終わったらまた持って帰ってくるという手間が掛かっています。私が検査員の資格を取って福島町に検査場が出来れば、その輸送費や手間を省くことが出来ます。

その資格を取る為には一週間の研修が何回もあり、その後の筆記試験と鑑定試験で合格すると秋の検査の時期に実際に検査場で実習を行い、最短で1年半くらいの期間で資格が取れる流れになっています。研修の内容は検査員の心得などの基本事項から、農産物検査法・食糧法・JAS法・種子法などの関係法令、そして一番のハードルが農産物検査の理論で元素記号や化学式が沢山出てきます。例えば植物の三大栄養素・・・窒素(N)・リン酸(P)・カリ(K)などのように元素記号も合わせて説明されていたりして、化学式で理論を学ぶのもこれからの農業には大事な事だと思います。



地域おこし協力隊
野口 和也



▲有害鳥獣駆除の教本



▲ソバなどの検査の様子

